

健常人も「運悪く」陽性に



「この頃だけ、ではない。若いひと
は、ワッシーのような町医者の話な
ど、簡単には聞き入れてくれない。
そのひとも、「姑おばあちゃんは認知症だ」
と言いつ張る。で、「年相応のもの忘
れだろう」というワッシーの説明は
耳に入らない。いきなり、「センセ。
PET検査できる病院へ紹介状書い
て」と一方的だ。

最近、アルツハイマー病の診断法
は格段に進歩した。「アミロイドP
ET(ペット)(陽電子放射断層撮

アミロイドPET検査

影」というのも、そのひとつだ。ア
ルツハイマー病というのは、アミロ
イドβタンパクの沈着、凝集が先駆
けで、次々と神経細胞がダメになっ
ていくために起きる。特殊な診断薬
を使うと、PET画像で、そのアミ
ロイドβの沈着や凝集の状況が手に
取るように分かる。日本では、2年
前から検査できるようになった。石
川県にも、検査のできる施設はある。

だが、この画期的な検査法にもい
くつかの難点がある。現段階では、
アミロイドPETをするのに、保険
が使えない。従って、PETの検査
は私費になる。高い。また、アミロ
イドPETは、アルツハイマー病の
患者さんの90%、軽度認知障害患者
の60%が陽性に出る。しかし、健常
人の20%も陽性に出るのである。だ
から、アミロイドPET陰性なら、
まま、アルツハイマー病ではないと
言えるかもしれない。が、「陽性だ

画期的だが今は早い

からアルツハイマー病だ」とは言え
ないということになる。

だから、気の小さいワッシーなん
ぞは、アミロイドPET検査を受け
ようなんて思いもしない。もしも運
悪く陽性に出たらどうするのだ。い
まだ根治療法のない認知症になるか
もしれない。それはいつ? などと、
不安に押しつぶされそうだ。アミロ
イドPETを検診に使うのは、将来
はともかく、今は早過ぎる。まずは、
認知症の鑑別診断や若年性認知症の
診断に使われるべきである。

(石黒修三||いし黒ろクリニック・
脳神経外科専門医、金沢市在住)